



医療・介護ICT連携の時代における かかりつけ連携手帳の活用

2015年8月6日
日本医師会常任理事
石川 広己

日本医師会のICT戦略

- 医療・介護情報連携の推進
全国医療連携ICT化事例の集約と情報共有
推奨例、推奨できない例の提示
- 医療情報ICT化の共通基盤の構築
医療分野の電子化推進
ORCA事業
HPKI認証局、HISPRO
かかりつけ連携手帳
- 医療等IDの創設
医療・介護におけるマイナンバーの位置と医療等ID
- 医療情報ビッグデータ
NDB、KDB、DPCデータ等の取り扱いに関与
医療・介護における個人情報保護の整理

キーワード：医療情報連携

- ▶ 医療機関の役割分担（医療機関の再編）の推進
- ▶ 在宅医療まで展望した医療・介護連携の推進
- ▶ 医師不足・医師の偏在・診療科の偏在
- ▶ 医療・医学の高度化・細分化・専門分化
 - ▶ 患者の医療の関する要求の先鋭化

医療情報連携が最も有効な解決方法

- ▶ さらに様々なIT分野の進歩
 - ▶ IT化の基盤や流れが作られてきている



医療連携のIT化

かかりつけ連携手帳とは？

- 三師会（日本医師会・日本歯科医師会・日本薬剤師会）が提唱するアナログ的に医療・介護情報を連携する手帳。
 - 平成26年より原案の検討を開始
 - 平成26年6月 日本医師会が公表
- 提唱の理由
 - 全国の多くの地域でIT化による地域医療連携や在宅ケア連携が進められているが、様々な理由ですべてをIT化していくことは困難。（2025年までには、とても間に合わない）
 - しかしながら、こうしている時間でも医療・介護は営まれている。少しでも連携の恩恵にあずかるべき。可能な事から連携を進めて行こう。

かかりつけ連携手帳のコンセプト

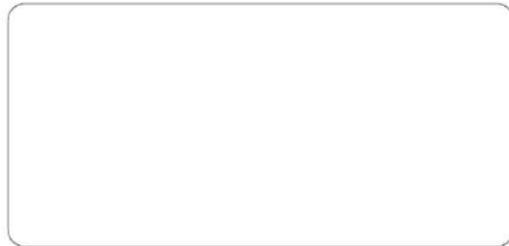
- かかりつけ医師、かかりつけ薬剤師、かかりつけ歯科医師のそれぞれの情報が共有できる、**患者さん単位の簡便な手帳**。
- 地域包括に欠かせない**看護・介護スタッフの活用**も想定。
- 既存のシステム(インフラ)を**最大限に活用する事**を想定。
- 手帳の構成・項目などが、**将来のネットワーク化(ICT化)**を見据えて作られている。
- かかりつけ連携手帳を活用する事で、医療従事者と患者さんの**コミュニケーション向上(目線を同じにする)**を目指すと共に、**信頼される医療環境**を提供する。

かかりつけ連携手帳は・・・ **アナログ連携のプラットフォーム??**



かかりつけ連携手帳のタイトル

地域連携〇〇パスや〇〇ネット等、地域で手帳に名前をつけてご使用いただけます。



かかりつけ連携手帳の記入例1

【記入例】

わたしの大切な情報

氏名 小沢 花子 男

生年月日 大正 昭和 平成 年 月 日 歳

住所 〒 丁目 番 号

医療機関の受付用のICタグや本人確認用の写真などを貼付する

非常時に連絡がつく電話番号
(本人) - -
(本人以外) - -

かかりつけ医療機関・介護事業所
駅前薬局 03-6827-76XX
担当: 山野 みどり

個人認証用ICタグ等
〔診察券・本人確認等に使用〕
写真を貼っても可

デンタルあせい 03-3571-20XX
担当: 浅井 太郎

サト一福社用具貸与サービス 03-5711-XXXX
担当: 佐藤 太郎

【記入例】

おもな病気 (慢性疾患など)

①脳梗塞 (左片麻痺)
②認知症
③高血圧症
④便秘

処方薬に関する禁忌・注意事項

禁忌はなし
抗凝固薬注意
プラザキサ 75mg 服用中

アレルギー歴

⑤ ケフラルでじんましん
なるべく具体的薬剤名で

副作用歴

⑥ 2011.2.5
なるべく日付も
医薬品名 芍薬甘草湯で低カリウム血症

【記入例】

被保険者番号等

医療保険 01010011
介護保険 1234567890

介護保険認定状況

介護度	認定有効期間
要介護3	2014年 10月 1日
	2015年 9月 30日
	年 月 日
	年 月 日
	年 月 日
	年 月 日

服薬中の一般薬など・メモ

2014.10/3 サト一福社用具貸与サービス (佐藤)
①特殊寝台 (2モーター)
②特殊寝台付属品 (マットレス) の貸与

かかりつけ連携手帳のご利用方法

- この手帳は、患者さんの持病やアレルギー歴、要介護度、かかりつけの医療機関や介護事業所で受けた治療や処方の情報を、本人、家族、医療や介護のスタッフの皆で共有するためのものです。
- 最初の見開きページに、患者さん本人と家族、かかりつけの医療機関や介護事業所の担当者が、患者さんの基本的な情報を記入しましょう。
- ノートのページには、かかりつけの医療機関や介護事業所の担当者が、患者さんの心身の状態や治療や処置、くすりの処方を記入します。日付と記入者名も書いてください。カルテや日記帳ではありませんので、診療や日常の出来事を詳細に書く必要はありません。治療や処置、お薬が変わったときや新しく処方されたときなど、重要なポイントを簡潔に書いてください。本人や家族が書き込んでかまいません。処方シールや検査データを貼り付けることもできます。「おくすり手帳」と併用してもよいでしょう。
- 歯科のカルテには「歯式」という歯のイラストが描いてあり、どの歯がどのような状態で、どのような治療・処置を行ったかが記録されています。この手帳には、もっと簡略化した「歯式」で記入しますので、どの歯を指しているのか、下図を参考にしてください。

歯式

右上	左上
87654321	12345678
87654321	12345678
右下	左下

(正面から見た図) (簡略化した歯式)

患者基本情報記入ページ

氏名や連絡先、かかりつけ医療機関名や連携する介護事業所名等、主な病気や注意すべき服薬中のお薬、アレルギー歴等を記載

介護関係情報等の記入ページ

要介護度とメモ欄(メモ欄には介護レンタル品等の在宅環境やOTC等情報を記載してもよい)。



かかりつけ連携手帳の記入例2

お薬手帳用ラベル等

* かかりつけ連携手帳に貼り付けた場合、手帳加算の算定要件を満たしています。また、保険調剤薬局でラベルを貼り付けてもらっても、調剤報酬点数算定要件を満たしています。
(厚生労働省 保険局 医療課 確認済み。)

◎ 予定外
介護内容
 トイレ介助 バット交換 全身清拭 洗面
 部分浴 (足) シャワー浴 移動・移乗介助
 通院介助清拭 (風呂) 清拭 (ゴミ出し)
 買物ベッドメーカー・シーツ交換 粗糞処理
 酸素吸入点滴管理 胃ろう管理
バイタル
 血圧 136 / 98 mmHg
 体温 36.5℃ 脈拍 80 回
様子
 食欲あり 食事量 完食 尿量中
特記
 顔色は良く食欲もありました。
 在宅支援事務所 ジック
 521-8053 日川厚生社 0476-21
 TEL 076-209-1000 FAX

お薬手帳ラベルを貼る

丸藤清 処方 外来 駒込太郎先生 朝
 院外
 高剤師訪問依頼
 Rp01
 アリセプト0錠 5mg ○ 1錠
 分1: 朝食後
 Rp02

12/4 <訪問歯科> PM 13:30

7 ————— 7 欠損 (総入れ歯)
 7-4 2+2 4-7 欠損 (部分入れ歯)

3 3 歯周病
 3 齧

・左下の犬歯 むし歯治療
 ・下の歯 歯石除去

デンタルあさい

歯式、治療内容、口腔清掃、指導内容などを書く。

【記入例】

新たに追加処方されたお薬の内容

11/30 <駅前薬局> 10/2の処方と追加のされた薬

Rp05
 ロキソニン錠 60mg 1錠
 14回分
 レンドルミン錠 0.25mg 1錠
 分: 就寝前 14日

繰り返す情報、特にお薬の do 処方などは、ラベル等を加工して、新しく処方されたもののみを貼りつける場合もある。その場合、いつの処方の do であるかを明示し、処方内容全体が迷子にならないよう注意すること。

12/4 <訪問歯科> PM 13:30

7 ————— 7 欠損 (総入れ歯)
 7-4 2+2 4-7 欠損 (部分入れ歯)

3 3 歯周病
 3 齧

・左下の犬歯 むし歯治療
 ・下の歯 歯石除去

デンタルあさい

歯式、治療内容、口腔清掃、指導内容などを書く。

【記入例】

11/8 三田病院にて定期検査の結果

【院内検査 (1)】		【院内検査 (1)】	
1332634	2332634	2332634	2332634
●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●
(2015.01.18)	(2015.01.18)	(2015.01.18)	(2015.01.18)
生化学 (1)	血液学		
2015.01.18 (肝外)	2015.01.18 (肝外)		
検体番号 2300359	検体番号 2300359		
すべて異常	すべて異常		
GOT 20	** カリウム 4.2		
GPT 20	MBC 4.18		
LDH 172	BBC 4.18		
ALP 270	HGB 14.0		
TP 6.7	HCT 39.5		
ALB 4.1	MCV 94.5		
UA 5.5	MCH 33.5H		
UN 16	MCHC 35.4		
CRE 0.81	PLT 243		
T-BIL 0.8			
T-CHO 172			
C-BIL 0.1			
UA 137			
K 4.4			
CL 103			
CA 8.7			
I-P 3.0			
G-GTP 62H			
CHE 285			
TG 78			
γ-GT 0			
257			
GLU 106			
** グリコ Hb/A1c 5.3			
HbA1c/A 5.3			
** グリコ Hb 5.7			
A1c - NGSP 5.7			
ALB (G) 4.2			

検査結果データラベル

訪問看護・介護の提供実施票



かかりつけ連携手帳の記入例3

患者正面から見た図

要治療のむし歯	なし
むし歯	あり(2本)
歯石	なし あり
歯肉の炎症	なし あり(要指導) あり(要治療)
特記事項	
施設名又は担当者名	

歯の状態記号：健全歯 / むし歯(未処置歯) C 処置歯 ○ 喪失歯 △

27年 6月 11日診査		施設名又は担当者名													
8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
△	△	○	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

歯科_歯式ラベル

●内服・頓服・外用

- 【般】アトルバスタチン錠 5m
【般】ドネペジル塩酸塩口腔内
- 【般】ロサルタンK錠 100m
【般】アルファカルシドール錠
- 【般】アムロジピン口腔内崩壊錠

【1日1回朝食後に】

- 【般】ロキソプロフェンNa錠
- 【般】アルジオキサ錠 100m
【痛む時に】
- 【般】フェルピナク軟膏 3%
【1日1回就寝前に】

●注射・点滴

- 1) プラリア皮下注 60mg シリン

●検査

- 1) 骨塩定量検査(超音波法)
- 2) 末梢血液一般
- 3) B-V

●画像

- 1) 透視診断
造影剤使用撮影(アナログ撮影 61010
検証 太郎様
診察日平成27年 月 5日

患者正面から見た図

要治療のむし歯	なし
むし歯	あり(2本)
歯石	なし あり
歯肉の炎症	なし あり(要指導) あり(要治療)
特記事項	
施設名又は担当者名	

歯の状態記号：健全歯 / むし歯(未処置歯) C 処置歯 ○ 喪失歯 △

27年 6月 11日診査		施設名又は担当者名													
8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
△	△	○	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

医師：先生
診療日：2014年07月09日(水)

<処方>
[アダラートCR錠 10mg] 1
【1日1回朝食後に】 14日分

<注射>
皮下、皮下及び筋肉内注射
静脈内注射
[ハイスコ皮下注 0.5mg 0.05% 1mL] 1

<処置>
[皮膚欠損用創傷被覆材(皮下組織に100至る創傷用・標準型)]

医科診療行為ラベル

歯科_歯式ラベル(開発中)

医科診療行為ラベル

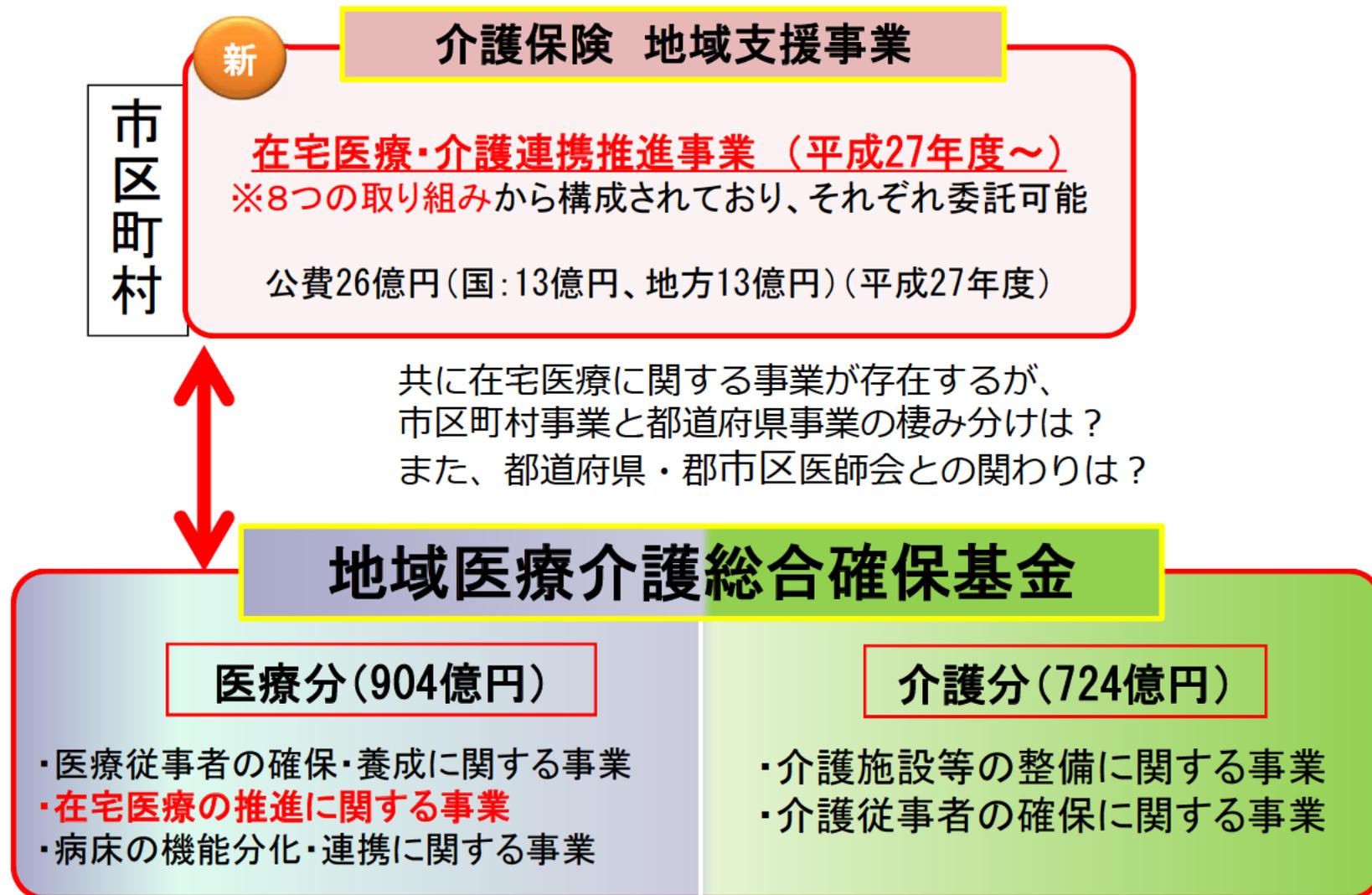


在宅医療・介護連携推進事業の 情報共有ツールとして

- かかりつけ連携手帳は、患者さん自らの健康管理のために必要な、様々な諸記録を記載し、個人の健康の増進に向けた自主的な努力を促進するためにも利用可能
- 三師会は、基本項目を示すだけ
 - 運用地域の特性に合った、オプションページを追加すれば、活用の幅は広がり地域に根付く

1. 特定健康診査
2. 特定保健指導の記録
3. 健康診査
4. 健康教育
5. 健康相談
6. 機能訓練
7. 訪問指導の記録
8. 生活習慣行動等の把握
9. 医療の記録
10. 介護予防手帳など

「介護保険地域支援事業」と「地域医療介護総合確保基金」



在宅医療・介護連携推進事業の8事業

■ 介護保険の地域支援事業

- 市区町村を実施主体として平成27年4月より順次実施し、平成30年4月には全市区町村で実施される

■ 具体的な8つの取り組み内容

- (ア) 地域の医療・介護の資源の把握
- (イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
- (ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進
- (エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援
- (オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援
- (カ) 医療・介護関係者の研修
- (キ) 地域住民への普及啓発
- (ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

かかりつけ連携手帳で！！

介護予防・日常生活支援総合事業 =====>
在宅医療・介護連携推進事業の手引き Ver.1 =>

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000074126.html>
<http://www.jcma.or.jp/images/150331kaihogokensaisinjyouhouVol.447.pdf>

医療・介護関係者の情報共有の支援

情報共有の手順等を含めた**情報共有ツールを整備**し、地域の医療・介護関係者間の情報共有の支援を行う。



実際に情報共有ツールを使用する地域の医療・介護関係者等の意見を十分に踏まえ、「**情報共有ツールの様式**」「**使用方法**」「**活用・手順等を定めた手引き**(利用者の個人情報の取り扱いを含む)」等を策定。

※情報共有ツール：
連絡帳・連絡シート、情報共有シート
ファックス、電子メール等
地域連携クリティカルパス等

オプションページ(リハビリ)

生活行為向上リハビリテーション実施計画	
年 月 日現在	
本人の生活行為の目標	
家族の目標	
実施期間	通所訓練期(年月日 ~ 年月日)
	【通所頻度】 回 / 週
活動	プログラム
	自己訓練
心身機能	プログラム
	自己訓練
参加	プログラム
	自己訓練
【支援内容の評価】	

生活行為向上リハビリテーション実施計画	
年 月 日現在	
本人の生活行為の目標	
家族の目標	
実施期間	社会適応訓練期(年月日 ~ 年月日)
	【通所頻度】 回 / 週
活動	プログラム
	自己訓練
心身機能	プログラム
	自己訓練
参加	プログラム
	自己訓練
【支援内容の評価】	

オプションページ(介護予防)

興味・関心チェックシート 1			
生活行為	年 月 日現在		
	している	してみたい	興味がある
自分でトイレに行く			
一人でお風呂に入る			
自分で服を着る			
自分で食べる			
歯磨きをする			
身だしなみを整える			
好きなときに眠る			
掃除・整理整頓			
料理を作る			
買い物			
家や庭の手入れ・世話			
洗濯・洗濯物たたみ			
自転車・車の運転			
電車・バスでの外出			
孫・子供の世話			
動物の世話			
友達とおしゃべり・遊ぶ			
家族・親戚との団らん			
デート・異性との交流			
居酒屋に行く			
ボランティア			
地域活動(町内会・老人クラブ)			
お墓参り・宗教活動			
その他()			
その他()			

興味・関心チェックシート 2			
生活行為	年 月 日現在		
	している	してみたい	興味がある
生涯学習・歴史			
読書			
俳句			
書道・習字			
絵を描く・絵手紙			
パソコン・ワープロ			
写真			
映画・観劇・演奏会			
お花・お茶			
歌を歌う・カラオケ			
音楽を聴く・楽器演奏			
将棋・囲碁・麻雀・ゲーム等			
体操・運動			
散歩			
ダンス・踊り			
野球・相撲等の観戦			
競馬・競輪・競艇・パチンコ			
編み物			
針仕事			
畑仕事			
賃金を伴う仕事			
ゴルフ・グラウンドゴルフ・水泳・テニスなどのスポーツ			
旅行・温泉			
その他()			
その他()			

オプションページ (IADL・ADL)

活動					
年 月 日現在					
アセスメント項目	現状	改善の可能性	課題の重要性	モニタリング	評価の内容の記載方法
基本的動作	起き上がり				3: 自立 2: 見守り 1: 一部介助 0: 全介助 9: 把握していない
	立位保持				
	床からの立ち上がり				
	移動能力 (TUG:6分間歩行)				
他	服薬管理				3: 自立 2: 見守り 1: 一部介助 0: 全介助
	HSD-R				点数を記載
ADL	食事				10: 自立 5: 部分介助 0: 全介助
	椅子とベッド間の移動				15: 自立 10: 最低限の介助 5: 部分介助 0: 全介助
	整容				5: 自立 0: 部分・全介助
	トイレ動作				10: 自立 5: 部分介助 0: 全介助
	入浴				5: 部分介助 0: 全介助
	平地歩行				10: 自立 5: 部分介助 0: 全介助
	階段昇降				
	更衣				
	排便コントロール				
	排尿コントロール				
	ADL 合計				

※課題重要性は「現状」と「改善の可能性」から取り上げる課題の優先順位をつける。
※ADLは「している」状況について記載する。

【特記事項】

活動						
年 月 日現在						
アセスメント項目	現状	改善の可能性	課題の重要性	モニタリング	評価の内容の記載方法	
IADL	食事の用意				※IADL評価点 0: していない 1: まれに 2: 時々 3: 週3回	
	食事の片付け					
	洗濯					
	掃除や整頓					
	力仕事					
	買い物					
	外出					
	屋外歩行					
	趣味					
	交通手段の利用					
	旅行					
	庭仕事					0: していない 1: 時々 2: 定期的 3: 頻替え等
	家や車の手入れ					0: していない 1: 電球取替え等 2: 月一回程度 3: 月二回程度
	読書					0: していない 1: まれに 2: 月一回程度 3: 月二回程度
仕事				0: していない 1: 週1～9時間 2: 週10～25時間 3: 週30時間以上		
IADL 合計						

※課題重要性は「現状」と「改善の可能性」から取り上げる課題の優先順位をつける。
※IADLは「している」状況について記載する。

【特記事項】

オプションページ(生活機能評価)

基本チェックリスト(生活機能評価)					
年 月 日現在					
No.	質問項目	回答	得点		
暮らしぶりその1	1 バスや電車で1人で外出していますか	0. はい 1. いいえ			
	2 日用品の買い物をしていますか	0. はい 1. いいえ			
	3 預貯金の出し入れをしていますか	0. はい 1. いいえ			
	4 友人の家を訪ねていますか	0. はい 1. いいえ			
	5 家族や友人の相談にのっていますか	0. はい 1. いいえ			
		No.1~5の合計			
運動器関係	6 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	0. はい 1. いいえ			
	7 椅子に置いた状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	0. はい 1. いいえ			
	8 15分間位続けて歩いていますか	0. はい 1. いいえ			
	9 この1年間に転んだことがありますか	1. はい 0. いいえ			
	10 転倒に対する不安は大いいですか	1. はい 0. いいえ			
		No.6~10の合計			
栄養関係	11 6ヵ月間で2~3Kg以上の体重減少はありましたか	1. はい 0. いいえ			
	身長 (cm) 体重 (Kg) BMIの数値 ()				
	※BMI 18.5未満なら該当 ※BMI $[(\text{体重(Kg)}) \div (\text{身長(m)})^2]$				
口腔機能等の関係	13 半年前に比べて堅いものが食べにくくなりましたか	1. はい 0. いいえ			
	14 お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい 0. いいえ			
	15 口の閉りが気になりますか	1. はい 0. いいえ			
			No.13~15の合計		
	16 週に1回以上は外出していますか	0. はい 1. いいえ			
暮らしぶりその2	17 昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1. はい 0. いいえ			
	18 周りの人から「声も聞き取りにくく」などの指摘があるといわれますか	1. はい 0. いいえ			
	19 自分で電話番号を覚えて、電話をかけることをしていますか	0. はい 1. いいえ			
	20 今日が何月何日かわからない時がありますか	1. はい 0. いいえ			
			No.16~20の合計		
		No.1~20の合計			
こころ	21 (ここ2週間) 毎日の生活に充実感が無い	1. はい 0. いいえ			
	22 (ここ2週間) これまで楽しんでやっていた事が楽しめなくなった	1. はい 0. いいえ			
	23 (ここ2週間) 以前は来ていた行事がきではおっくうに感じられる	1. はい 0. いいえ			
	24 (ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない	1. はい 0. いいえ			
	25 (ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする	1. はい 0. いいえ			
		No.21~25の合計			

※チェック方法
 回答欄のはい、いいえの前にある数字(0又は1)を得点欄に記入して下さい。
 ※基本チェックリストの結果の見方
 基本チェックリストの結果が下記に該当する場合、市町村が提供する介護予防事業を利用できる可能性があります。お住まいの市町村や地域包括支援センターにご相談下さい。
 ●No.1~20までの20項目のうち10項目以上に該当する場合
 ●No.6~10までの5項目のうち3項目以上に該当する場合
 ●No.11及びNo.12のうち2項目すべてに該当する場合
 ●No.13~15までの3項目のうち2項目以上に該当する場合

生活機能評価(検査)の記録				
受診年月日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
身体測定	身長	cm	cm	cm
	体重	Kg	Kg	Kg
	BMI			
血圧 H/L	/ mmhg	/ mmhg	/ mmhg	
SpO2	%	%	%	
心電図				
貧血検査	赤血球 (ヘモグロビン値)	万/mm3	万/mm3	万/mm3
	血色素	g/dl	g/dl	g/dl
	ヘマトクリット値	%	%	%
	血清アルブミン値	g/dl	g/dl	g/dl
反復嚥下テスト	回	回	回	
基本チェックリスト	総合	/20	/20	/20
	運動機能評価	/5	/5	/5
	栄養改善	/2	/2	/2
	口腔機能向上	/3	/3	/3
	閉じこもり	/2	/2	/2
	物忘れ	/3	/3	/3
	うつ	/5	/5	/5
指導区分				
総合的指示事項				
実施機関名				
【特記事項】				

システムからのアプローチ(ラベル対応)

『正確』・・・各種システムとの連携による「手書き」、「転記」ミスによる事故未然防止
『省力』・・・「入力」と「手書き」による二重業務改善(効率化)

■ お薬手帳用ラベル (処方ラベル)

■ ORCAとの連動 (病院・診療所)

■ 調剤薬局システムとの連動

■ 各種検査データラベル

■ 電子カルテシステム等との連動
(病院・診療所・健診機関等)

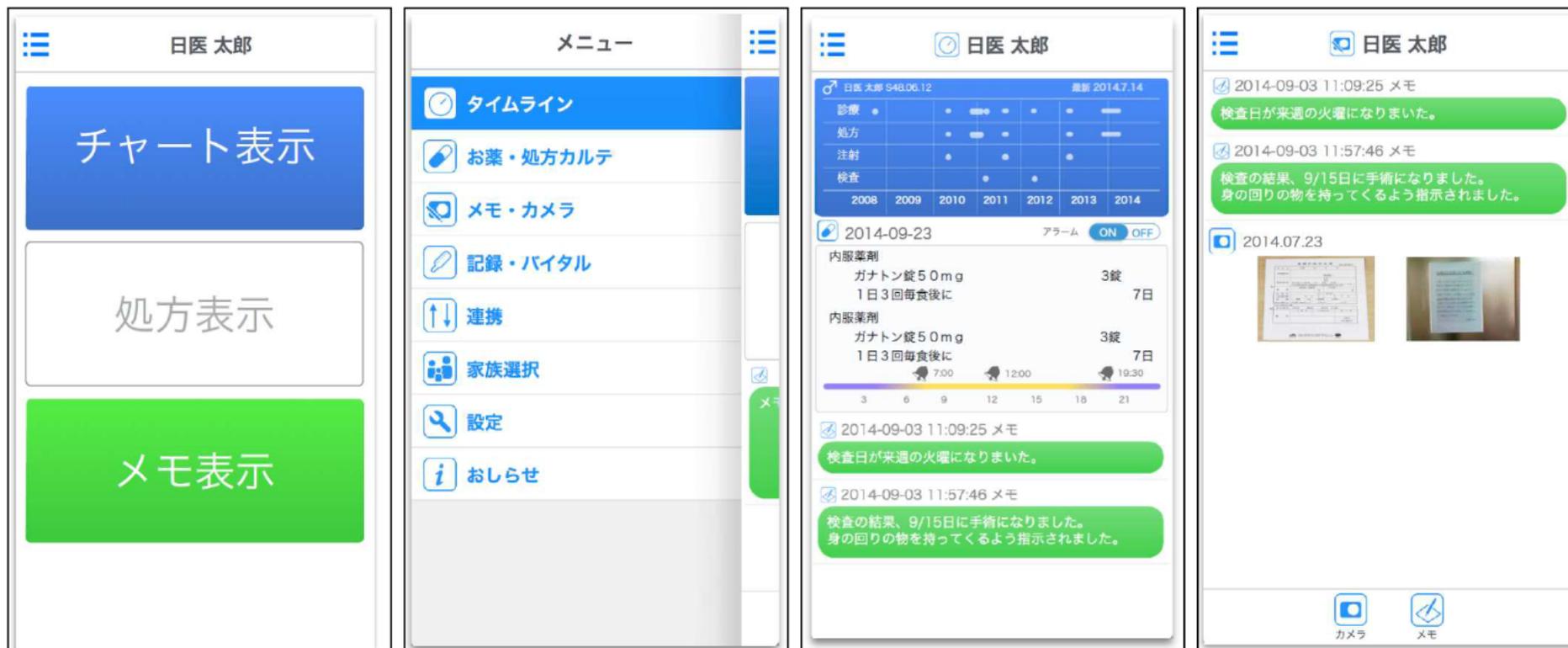
■ 歯科治療・処置の歯式ラベル

■ 歯科レセコン
(訪問歯科システム) 等

■ 訪問看護・訪問介護の実施記録票

■ 介護システムとの連動
(訪問看護ST 訪問介護、その他施設)

そして・・・電子版かかりつけ連携手帳へ



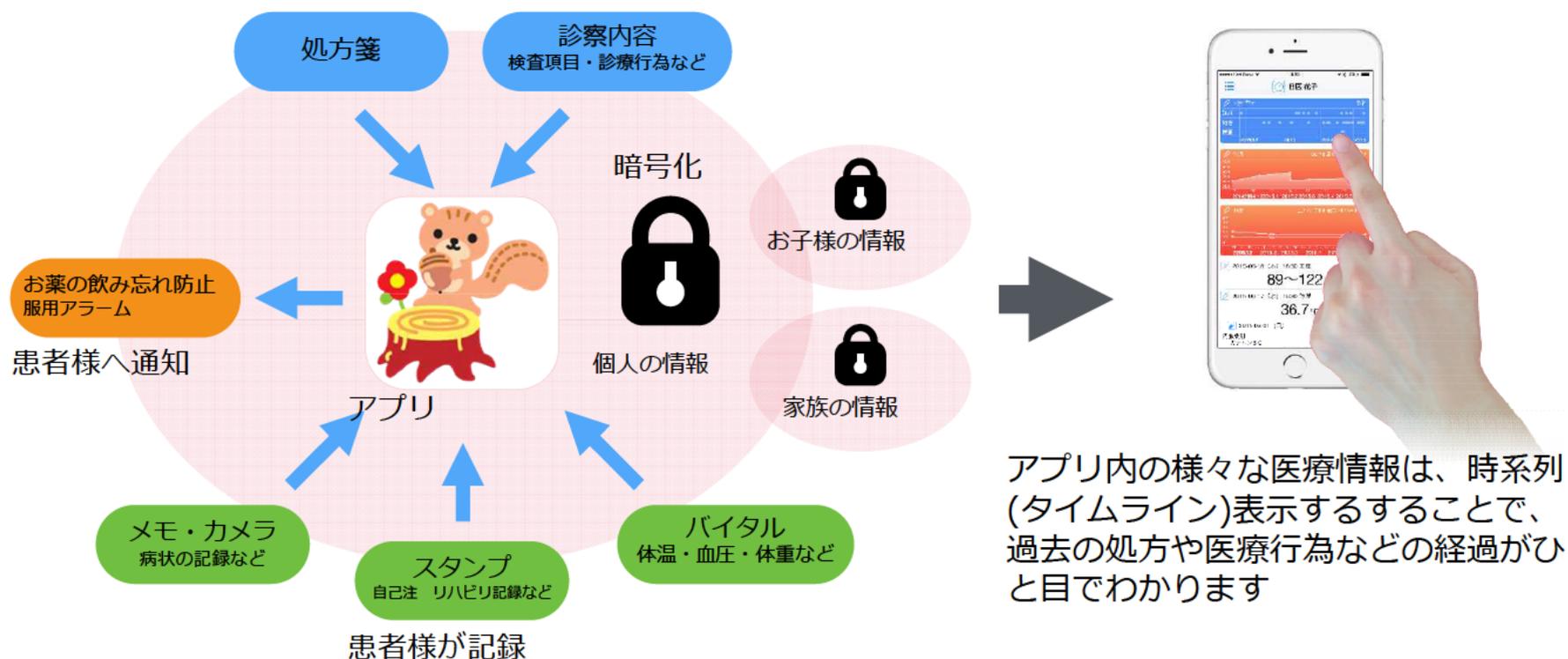
鋭意開発中・・・

電子版かかりつけ連携手帳アプリの概要 (案)

かかりつけ薬局からの処方

かかりつけ医療機関での診療

様々な情報を時系列に分かりやすく表示



アプリ内の様々な医療情報は、時系列(タイムライン)表示することで、過去の処方や医療行為などの経過がひと目でわかります

- アプリ側に患者の個人情報を暗号化して保存します → **安心してアプリを利用できる**
- 保持する情報は、家族毎の処方内容、検査項目、診療行為、メモ、写真、バイタルなどのデジタル情報や、医療機関からもらった検査結果や処方せんなど紙の資料を、カメラでスキャンして管理できます。 → **紙と同様な汎用性がある**
- かかりつけ医療機関との連携機能では、処方以外にも、検査項目、診療行為などの情報をアプリに記録できます。 → **日医版診療情報データフォーマットに対応**

電子版かかりつけ連携手帳アプリの画面

アプリ起動時の画面

診療行為の概要をタイムラインで表示する
タイムラインウィジェット



バイタルウィジェット

バイタルウィジェット

新しい情報から表示される
タイムラインリスト



- 診療行為ウィジェットをタッチすると、薬剤毎や診療行為毎の詳細な情報をタイムラインとして表示します。

- 時系列の拡大縮小などが可能であり、何年も前の診療履歴が瞬時に確認する事ができます。

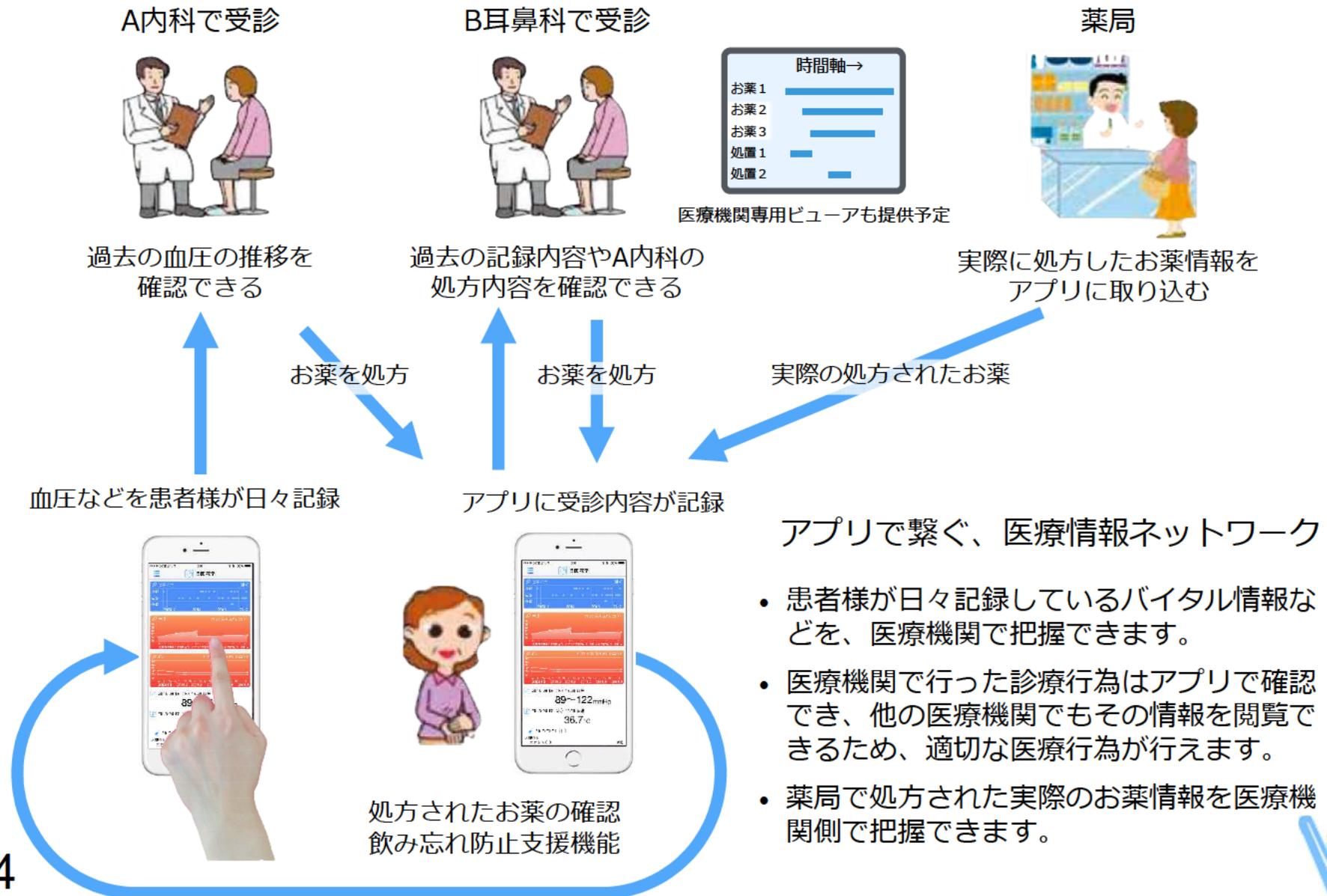
- バイタルウィジェットをタッチすると、そのバイタルを記録する事ができます。

- グラフを見ながら過去の数値を確認でき、記録する事の大切さを感じながら入力する事ができます。

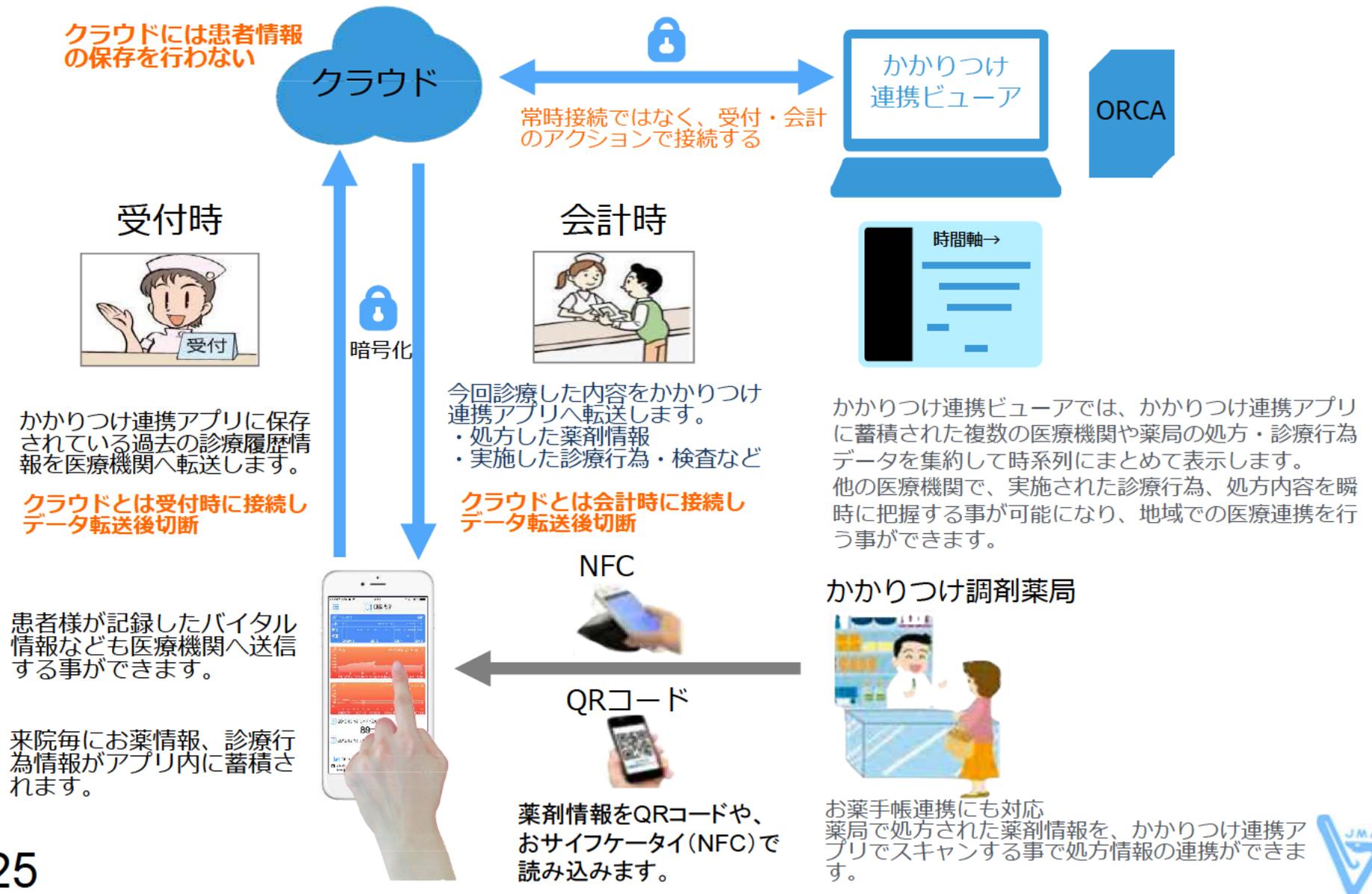
- ウィジェットは、すぐに見たい情報をトップ画面の先頭に表示して、記録情報をすぐに確認できます。(設定で項目毎にON/OFFができます)
- タイムラインリストは、記録した情報を時系列に新しい順番で表示します。



電子版かかりつけ連携手帳アプリの構想



電子版かかりつけ連携手帳アプリ と医療機関の連携の仕組み



かかりつけ連携手帳は・・・ アナログ連携のプラットフォームから



かかりつけ連携手帳は・・・ IT連携へのプラットフォームへ





ご清聴ありがとうございました。



日本医師会

